

郷土作家シリーズ14

堀田

清 塑造展



平成30年

8/25(土)

9/23(日)

午前10時から午後6時まで
9/3(月)は施設点検のため休館します。

会場
砺波市美術館 企画展示室

観覧料
一般500円(400円)
高校生以下、障がい者(介助者1名を含む)無料
※()内は20名以上の団体料金、65歳以上の割引料金

主催=公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団・砺波市美術館
北日本新聞社
共催=北日本放送
後援=とнами美術通信テレビ、Jフェムとнами、とнами芸術文化友の会
協賛=県民芸術文化祭2018

TONAMI ART MUSEUM
砺波市美術館
〒939-1383 富山県砺波市高瀬145-1
(砺波フェニックス公園内)
TEL. 0763-32-1001 FAX: 0763-32-6361
http://tonami-art-museum.jp

「彫の長い夜」1998年

堀田清 塑造展

郷土作家シリーズの第14回として、砺波市在住の彫刻家・堀田清を紹介します。

堀田は1933年に砺波市に生まれました。1952年富山県立高岡工芸高等学校木工科を卒業し、富山大学教育学部第二中等教育科に入学します。授業での頭像制作の課題がきっかけとなり、粘土で創造することの面白さに魅了され、同大学助教だった大瀧直平(1904～1987)に師事します。大学修了後直ぐに教職に就きますが、大学の先輩であった彫刻家の中谷唯一(1927～2018)らと集団プラスチックを結成し制作に励みます。また、県内の彫塑をリードしていた市在住の作家・永原廣(1905～1993)の薫陶を受けました。

1956年第11回富山県美術展覧会で知事賞を受賞、同年第20回自由美術家協会展に初入選を果たし、以後、県展、自由美術展で作品発表を行っています。作品はテラコッタ風の着色を施した端正な裸婦像を中心に制作し、女性美を塑造で追求しています。

堀田は、「絵の会どんぐりこ」と「とнамиデッサン会」を主宰し地域の芸術振興や後進作家の育成に取り組み、砺波市美術協会長、富山県彫刻家連盟委員長を歴任し県内の彫刻界に貢献してきました。

本展では、現在までの作品約40点とデッサンを展示し、堀田清の65年にわたる創作の軌跡を振り返ります。



- 1:髪(座像)1996年
2:想う女 1987年
3:手をあげたトルソ/1 1970年
4:薫風 1983年

関連催し

◇学芸員による
ギャラリートーク

日時:平成30年9月15日(土)
午後2時

会場:砺波市美術館 企画展示室
(要観覧券)



- ・JR北陸新幹線「新高岡駅」、またはあいの風とやま鉄道「高岡駅」よりJR城端線に乗り換え20分、「砺波駅」下車、徒歩20分
- ・北陸自動車道・砺波I.C.から車で5分

TONAMI ART MUSEUM
砺波市美術館

〒939-1363 富山県砺波市高道145-1
(砺波テューリップ会室内)
TEL. 0763-32-1001 FAX. 0763-32-6361
http://tonami-art-museum.jp